

## 大同・オムロンがレギュラーシーズン1位を確定

### ～第33回日本ハンドボールリーグ第17週～

第33回日本ハンドボールリーグ第17週は2月14、15日、愛知、宮崎などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子は前週、いち早くプレーオフ進出を決めていた大同特殊鋼が豊田合成の挑戦を退け、レギュラーシーズンの1位を確定。女子もすでにプレーオフ進出を決めていたオムロンが、勝点3の差で追走していたソニーセミコンダクタ九州との直接対決を制し、レギュラーシーズン1位を決めた。プレーオフ進出チームが出揃っている女子に対し、男子はプレーオフ出場権を争うトヨタ車体とトヨタ紡織九州が引き分けるなど、依然として予断を許さない大混戦が続いている。

男子で首位を走る大同は、合成のミスを着実に得点につなげ、序盤から主導権をキープ。左腕・今村や追加登録の中島らの活躍で粘る合成を32-23と無難に退け、15勝目をマークしてレギュラーシーズン1位を確定させた。なお、この試合で大同・松林が通算400得点をマークした。大同を追う大崎電気は、三重でHondaと対戦。大崎は前半だけで9人のCPが得点に絡んだように、全員ハンドボールを展開して16-9と前半で大きくリード。後半、Hondaも諦めず、竹田の強打を軸に追い上げ、23分には23-25と2点差まで迫ったものの、そこから前田、岩永の連続得点でラストスパートを見せた大崎が12勝目をあげた。

今週の一番、宮崎での車体-紡織のぶつかり合いは、GKの好守もあり、引き締まった白熱戦に。前半21分、紡織は7-6と1点リードの場面から、中島の50試合連続得点や鈴木速攻などで3連取してわずかに抜け出し、11-8と3点差をつけ、後半に向かった。紡織は後半も鈴木らの活躍で19分20-14と6点リード、大きな白星ゲットに近づいたが、鶴谷らによる4連打で息を吹き返した車体は、残り3分、22-22と試合を振り出しに戻し、場内のボルテージは最高潮に。残り2分、紡織は西端のポストシュートで勝ち越すも、車体も残り1分37秒、香川が冷静に7mスローを沈めて譲らず、試合はそのままドロー決着。この結果、2番手以降は勝点3の差の中に大崎、湧永、車体、紡織の4チームがひしめく状況が、次週へと持ち越された。

女子はレギュラーシーズン1位の座をめぐり、勝点21のオムロンと同18のソニーが宮崎で激突。オムロンはGK藤間を軸とした堅いディフェンスでリズムをつかみ、前半を15-11とリード。ソニーは後半に巻き返しを図ったものの、エース郭の負傷リタイアなどで流れをつかみきれず、堅実な攻守を披露してリードを広げたオムロンが11勝目をあげた。また、当日の試合で北國銀行が敗れたため、オムロンのレギュラーシーズン1位が決まった。勝点17でソニーを追っていた北國は、この日、絶好調だった三重バイオレットアイリス・毛利、浅井のGK陣の好守に苦しみ、前半で失速。10-18と大量リードを許して後半に入った北國は、上町、横嶋らで得点ペースを上げたが、前半で勢いづいた三重も橋本、伊藤らで着実に得点をマークして主導権をキープ。試合は30-24と三重の快勝に終わり、北國はプレーオフ決戦に向け、不安をのぞかせた。(2ページに続く)



④大崎電気・永島 ⑤三重バイオレットアイリス・毛利

### 第18週の日程

2月21日(土)	石川	金沢市総合体育館 (JR北陸本線金沢駅バス25分)	13:00～	(女)	北 國 銀 行 × オ ム ロ ン
			12:00～	(男)	トヨタ自動車 × H o n d a
	愛知	稲沢市総合体育館 (名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」徒歩8分)	14:00～	(女)	H C 名 古 屋 × ソニーセミコンダクタ九州
			16:00～	(男)	豊 田 合 成 × 大 崎 電 気
	広島	東区スポーツセンター (アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～	(男)	湧 永 製 薬 × トヨタ紡織九州
2月22日(日)	沖縄	沖縄県立武道館 (那覇空港バス「奥武山運動公園」徒歩5分)	15:30～	(男)	琉 球 コ ラ ソ ン × 大 同 特 殊 鋼
	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館 (JR予讃線松山駅徒歩10分)	11:50～	(女)	三重バイオレットアイリス × 広島メイプルレッズ
			13:30～	(男)	北 陸 電 力 × トヨタ車体



広島メイプルレッズ・李

## 琉球コラソンが逆転で3勝目をマーク

そのほかの3試合も順位争いをめぐる白熱の攻防が展開された。大崎電気と同勝点で並ぶ湧永製薬は、トヨタ自動車を相手に坂本のサイドで先行してリズムをつかむと、武藤のポストなどで主導権を握った。湧永は後半も新、坂本のサイドや、通算400得点を達成した古家のロングなどで着実に加点、山口らで追撃する自動車を危なげなく退けた。

福井での北陸電力-琉球コラソン戦は、前半3点ビハインドを背負っていた琉球が後半出だしに水野(裕紀)、高田の3連打で15-15の同点に追いつくと、その後は1点を争う大接戦となった。18分過ぎのパワープレーチャンスに2連取した琉球が22分27-23とリードを広げたが、北電も神田のロングや杉山の7mスローで26分に28-28の同点とし、さらに高田が勝ち越しゴールを決めた。しかし、最後まで走りのスピードが衰えない琉球は高田、村山の連続速攻で逆転に成功、同点を狙った北電のサイドシュートをGK内田が阻んでタイムアップとなった。

ホーム広島でHC名古屋と対戦した広島メイプルレッズは、3:2:1の新ディフェンスシステムとGK堂面の好守がしっかりとかみ合い、12分過ぎまで名古屋を無失点に抑えた。13-6で前半を折り返した広島は、後半も植垣、大前らで点差を広げ、後半10分過ぎには今期で引退の決まっている青戸、樹山、坂口がコートにそろい踏み、ホーム最終戦に花をそえた。試合は終始主導権を握った広島が28-12で勝利をおさめた。

次週は石川などで男子5試合、女子3試合が行われ、男子ではトヨタ紡織九州がプレーオフ戦線生き残りをかけて湧永と対戦、女子ではリーグ1位を決めたオムロンに対し3位の北國銀行が挑む。終盤に入って好調な三重バイオレットアイリス-広島の対戦も興味深い。

◆ 2月14日(土) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア	◆ 2月14日(土) 男子 愛知・枇杷島スポーツセンター	◆ 2月14日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター
琉球 コラソン 30 (12-15) 29 北陸電力 3勝0分13敗 5勝0分11敗	大同特殊鋼 32 (18-12) 23 豊田合成 15勝0分1敗 3勝0分13敗	広島メイプル レッズ 28 (13-6) 12 HC名古屋 5勝0分8敗 0勝0分13敗
0/2 宮城 高橋 3/5 0/0 久高 神田 8/13 1/2 8/12 村山 落合 0/2 0/0 棚原 桜井 4/6 0/1 5/8 岡田 前田 3/4 0/1 積高 高田 6/9 2/5 志慶真 杉山 0/0 4/5 <1/3> K 内田 大谷 0/0 0/0 水野矢 表 0/0 2/3 内山 山原 1/3 7/9 高田 亀田 0/0 <1/3> K 石田 丸山 K <1/2> 5/7 水野紀 石塚 0/0 有江 K	5/6 松林 大立 K <0/1> 4/4 4/7 末松 原 1/2 2/4 富田 後藤 0/0 4/6 地引 黒木 2/4 3/5 武田 大橋 2/5 0/1 岸川 桶谷 2/5 <0/2> K 高木 渡久山 0/2 4/4 5/6 李才佑 今村 4/11 0/0 千々波 中村 2/4 0/0 山城 芳仲 2/6 <0/2> K 東 藤堂 K <0/3> 0/0 白元喆 中島 3/7 4/8 松永 畠中 1/10 1/2 渡久川 田形 0/0	<1/1> K 堂面 近藤 K <2/2> 2/3 土屋 池田 2/4 2/4 樹山 佐藤 2/8 0/0 青戸 高橋瑛 2/12 5/8 大前 菅谷 1/7 0/1 0/2 6/10 植垣 上野 3/4 5/9 李 高橋玲 1/1 0/3 坪井 家城 K 1/2 伊藤 藤島 0/0 3/5 坂口 徳永 K 1/1 安齋 生川 0/0 1/2 石山 山本 1/5 K 横田 2/3 新城
1/2 29/47 11(FPP)18 25/42 4/6 審判(藤井・大熨) 観客 250人	4/4 28/45 4(FPP)3 19/56 4/4 審判(油上・中村) 観客 637人	0/2 28/50 3(FPP)2 12/41 0/1 審判(寺内・細川) 観客 655人



## 豊田合成

### “豊田合成の元気印” 桶谷英則選手!

岐阜県出身の桶谷英則選手(=写真)は中学でハンドボールを始め、地元の市立岐阜商業高校へ進学してハンドボールを続ける。高校卒業後はハンドボールはしないだろうと考えていたが、いざ就職が決まった3年生の時にハンドボールを諦めきれず高校の監督に相談し、当時日本リーグ2部だった豊田合成に入社した。

ハンドボールを続けるのだが、職場は夜勤もある現場職で次第に向上心を失いかけていた。自らも「このままでいいのか」と自問自答していた時、豊田合成に移籍してきた21番畠中選手との出会いをきっかけに、忘れかけていた向上心や闘争心、ハンドボールへの熱い思いを取り戻す。

その頃、日本リーグも1部制となり豊田合成もトップリーグでの参入を果たすことになり、さらに追い風となる。その後、日々ハードなトレーニングを積み重ねることで、

秘められていた高い身体能力が開花し、大卒がメインの日本リーグでも通用するプレーヤーへと成長。今やチームにかかせない存在となっている。

来季入団の各チームの大卒ルーキーとは同い年。今まで培ってきたものを十分に発揮し、力の差を見せつけてほしい。そんな7番桶谷選手は持ち前の明るさでチームの元気印的存在でもある。夢は日本代表でオリンピック出場と大きく、今後の活躍に期待したい。皆さん!! 豊田合成とチームの元気印: 7番桶谷英則を宜しくお願いいたします。







湧永製薬・新

◆ 2月14日(土) 男子  
広島・東区スポーツセンター

湧永製薬 41 (19-10) 19 トヨタ自動車  
12勝1分3敗 22-9 1勝0分15敗

K 志水	増田	K <0/1>
3/3 木村	坂口	0/1
8/8 坂本	岩田	2/2
0/0 濱本	高野	0/0
4/9 福田	栗崎	4/6
2/3 吉田	小林	1/3
1/5 佐藤	多和田	2/8
4/4 名嘉	佐藤	K <0/1>
3/4 1/3 東	澤田	0/0 1/1
<0/1> K 坪根	出會	1/1
7/14 新	稲本	K <1/2>
5/7 武藤	光増	3/8
K 松村	山口	5/13
3/7 古家		

3/4 38/63 7(FPP)6 18/42 1/1  
審判 (佐々木・高原) 観客 720人

◆ 2月15日(日) 女子  
三重・名張市総合体育館

三重パティス 30 (18-10) 24 北國銀行  
トアイリス 5勝0分8敗 12-14 8勝1分4敗

<3/4> K 浅井	下地	K <0/2>
3/7 横川	上町	5/9 5/8
6/6 桂	宮前	0/1
0/0 石黒	佐久川	0/0
2/3 宮下	小野澤	0/1
0/0 谷口	横嶋	7/7
0/0 北村	野路良	1/4
3/3 1/2 伏見	武井	1/8 0/1
4/4 橋本	田代	K <0/1>
<2/5> K 毛利	仲宗根	0/2 0/1
6/7 星野	野路里	3/7
5/10 伊藤	井上	0/0
<0/1> K 森田	八十島	2/4
	若松	0/3

3/3 27/39 5(FPP)2 19/46 5/10  
審判 (寺内・細川) 観客 1050人

◆ 2月15日(日) 男子  
三重・名張市総合体育館

大崎電気 27 (16-9) 23 Honda  
12勝1分3敗 11-14 5勝0分11敗

K 浦和	中谷	0/0
0/2 小澤	鶴見	3/10
4/5 前田	柳本	5/8
2/2 中川	河瀬	1/1
4/5 永島	竹田	9/12
1/3 太田	横地	3/8
1/3 酒井	伊藤	0/1
K 濱口	青山	0/0
2/3 6/8 岩永	瀬元	0/0
2/4 東俊介	野嶋	2/6
2/7 内田	高木	0/0
0/2 猪妻	兼浦	K
0/0 望月	大井	0/0
3/8 宮崎	四方	K <1/3>

2/3 25/49 9(FPP)6 23/46 0/0  
審判 (池淵・檜崎) 観客 1300人

◆ 2月15日(日) 女子  
宮崎・小林市市民体育館

オムロン 30 (15-11) 22 ソニセミコンダクタ九州  
11勝1分1敗 15-11 9勝0分4敗

K 勝田	中島	0/1 <0/1>
4/6 城内	郭恵静	2/8
0/0 安心院	長野	2/7
1/1 巻	工藤	0/3
0/0 西本	亀山	6/8
1/1 5/11 藤井	高栖	2/5
3/5 佐久川	飛田	K
3/3 坂元	樋口	5/6
6/10 洪廷昊	佐師	1/1
K 藤間	飯田	0/1
1/1 高田	南	K
1/1 市村	東	0/0
4/12 東濱	川口	1/2
1/1 勝連	金城	3/6

1/1 29/51 8(FPP)3 22/48 0/0  
審判 (亀井・堀川) 観客 915人

◆ 2月15日(日) 男子  
宮崎・小林市市民体育館

トヨタ紡織九州 23 (11-8) 23 トヨタ車体  
10勝2分4敗 12-15 11勝2分3敗

<0/1> K 松野	木下	K
4/13 中島	田中	1/3
1/2 1/1 西端	佐々木	0/0
0/0 松信	野村	0/2
4/8 村上秀	藤田	1/1
3/8 呉相民	北出	3/5
0/0 鶴田	田平	K <2/4>
1/4 海道	小沢	0/0
1/4 阪	長谷川	3/5
<0/1> K 谷川	鶴谷	7/7
0/0 木練	香川	1/4 2/2
1/2 7/7 鈴木	崎前	2/5
0/0 船木	銘苅	2/2
0/1 泉原	門山	1/7

2/4 21/46 6(FPP)6 21/41 2/2  
審判 (浦川・石崎) 観客 1260人



## トヨタ車体

### 元気あふれるトヨタ車体スポーツクラブ

トヨタ車体の元気のいいスポーツクラブを紹介します。  
女子バレーボール部は、昨年末に行われた08年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会で初優勝。また、チームラン



天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会で初優勝  
日本一になったトヨタ車体女子バレーボール部

ドクルーザートヨタ車体は09年ダカールラリーの市販車部門で優勝して4連覇を達成しました。他クラブの刺激を受けているハンドボール部の今後の活躍にもご期待ください。



2009年ダカールラリーで市販車部門の優勝を獲得  
4連覇を達成したチームランドクルーザー (トヨタ車体)

# 男女個人賞レース 第17週終了

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	121 点	(16試合)	1 上 町 史 織 (北 國 銀 行)	123 点	(13試合)
2 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	119 点	(16試合)	2 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	97 点	(13試合)
3 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	113 点	(16試合)	3 樋 口 真 央 (ソ ニ ー)	74 点	(13試合)
4 竹 田 寛 明 (Honda)	105 点	(16試合)	4 横 嶋 かおる (北 國 銀 行)	63 点	(13試合)
5 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100 点	(16試合)	5 藤 井 紫 緒 (オムロン)	62 点	(12試合)
6 柳 本 義 文 (Honda)	90 点	(16試合)	5 東 濱 裕 子 (オムロン)	62 点	(13試合)
6 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90 点	(16試合)	5 李 キョンミン (メイプルレッズ)	62 点	(13試合)
8 新 建 二 (湧永製薬)	87 点	(16試合)	8 洪 廷 昊 (オムロン)	59 点	(13試合)
9 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	85 点	(16試合)	9 佐久川 ひとみ (オムロン)	58 点	(13試合)
10 高 田 匠 (琉球コラソン)	84 点	(15試合)	10 佐藤 由紀恵 (H C 名古屋)	57 点	(13試合)
11 神 田 友 和 (北 陸 電 力)	78 点	(16試合)	11 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	55 点	(13試合)
12 内 田 雄 士 (大 崎 電 気)	77 点	(16試合)	12 城 内 真 紀 (オムロン)	52 点	(13試合)
13 東長濱 秀作 (湧永製薬)	76 点	(13試合)	13 高 栖 由 香 (ソ ニ ー)	50 点	(13試合)
14 光 増 由 矢 (トヨタ自動車)	74 点	(16試合)	14 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49 点	(13試合)
15 白 元 喆 (大同特殊鋼)	72 点	(15試合)	15 伏 見 麻美子 (バイオレットアイリス)	48 点	(13試合)

### フィールド得点賞

1 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	113 点	(16試合)	1 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	93 点	(13試合)
2 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100 点	(16試合)	2 上 町 史 織 (北 國 銀 行)	76 点	(13試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	98 点	(16試合)	3 横 嶋 かおる (北 國 銀 行)	63 点	(13試合)
4 竹 田 寛 明 (Honda)	96 点	(16試合)	4 東 濱 裕 子 (オムロン)	62 点	(13試合)
5 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90 点	(16試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	58 点	(13試合)
6 新 建 二 (湧永製薬)	87 点	(16試合)	6 佐久川 ひとみ (オムロン)	56 点	(13試合)
7 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	86 点	(16試合)	7 李 キョンミン (メイプルレッズ)	55 点	(13試合)
8 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	85 点	(16試合)	8 城 内 真 紀 (オムロン)	52 点	(13試合)
9 高 田 匠 (琉球コラソン)	84 点	(15試合)	9 高 栖 由 香 (ソ ニ ー)	50 点	(13試合)
10 神 田 友 和 (北 陸 電 力)	78 点	(16試合)	10 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49 点	(13試合)

### シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	90点/144射 0.625	1 横 嶋 かおる (北 國 銀 行)	63点/ 80射 0.788
2 末 松 誠 (大同特殊鋼)	98点/158射 0.620	2 城 内 真 紀 (オムロン)	52点/ 74射 0.703
3 新 建 二 (湧永製薬)	87点/147射 0.592	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	56点/ 84射 0.667
4 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	100点/169射 0.592	4 星 野 美 佳 (バイオレットアイリス)	49点/ 75射 0.653
5 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	113点/191射 0.592	5 高 栖 由 香 (ソ ニ ー)	50点/ 81射 0.617

### 7 mスロー得点賞

1 村 山 裕 次 (琉球コラソン)	33 点	(16試合)	1 上 町 史 織 (北 國 銀 行)	47 点	(13試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	28 点	(16試合)	2 樋 口 真 央 (ソ ニ ー)	33 点	(13試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	23 点	(16試合)	3 伏 見 麻美子 (バイオレットアイリス)	31 点	(13試合)
4 藤 山 岳 士 (トヨタ紡織九州)	21 点	(13試合)	4 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	21 点	(13試合)
4 桜 井 渉 (北 陸 電 力)	21 点	(16試合)	5 吉 田 祥 子 (オムロン)	19 点	(7試合)

### 7 mスロー阻止率賞 (7 mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 東 佑 三 (大 崎 電 気)	10本/ 22射 0.455	1 田代 ひろみ (北 國 銀 行)	10本/ 21射 0.476
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	18本/ 50射 0.360	2 毛 利 久 美 (バイオレットアイリス)	8本/ 25射 0.320
2 高 木 尚 (大同特殊鋼)	9本/ 25射 0.360	3 近 藤 澄 江 (H C 名古屋)	12本/ 40射 0.300
4 藤 堂 聖 二 (豊田合成)	10本/ 30射 0.333	4 浅 井 友可里 (バイオレットアイリス)	8本/ 28射 0.286
5 石 原 秀 久 (大 崎 電 気)	7本/ 22射 0.318	5 藤 間 かおり (オムロン)	8本/ 31射 0.258

# 第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第17週終了 2月15日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 33 ○ ○	27 ○	32 34 ○ ○	38 27 ○ ●	27 38 ○ ○	41 29 ○ ○	37 ○	40 32 ○ ○	39 41 ○ ○	16	15	0	1	30	545	357	188
2	大崎電気	21 26 ● ●		27 31 △ ○	30 ●	33 36 ○ ○	35 27 ○ ○	33 36 ○ ○	49 38 ○ ○	33 ○	43 45 ○ ○	16	12	1	3	25	543	420	123
3	湧永製薬	23 ●	27 22 △ ●		29 25 ○ ●	28 ○	28 27 ○ ○	32 33 ○ ○	35 34 ○ ○	39 36 ○ ○	27 41 ○ ○	16	12	1	3	25	486	381	105
4	トヨタ車体	20 30 ● ●	32 ○	28 38 ● ○		25 23 △ △	36 33 ○ ○	30 ○	32 36 ○ ○	43 36 ○ ○	37 42 ○ ○	16	11	2	3	24	521	406	115
5	トヨタ紡織九州	18 33 ● ○	28 31 ● ●	26 ●	25 23 △ △		28 30 ○ ○	38 28 ○ ○	35 38 ○ ○	38 44 ○ ○	37 ○	16	10	2	4	22	500	438	62
6	H o n d a	23 23 ● ●	33 23 ● ●	21 19 ● ●	27 29 ● ●	25 25 ● ●		29 ○	36 39 ○ ○	27 28 ● ○	29 ○	16	5	0	11	10	436	462	-26
7	北陸電力	25 15 ● ●	21 22 ● ●	18 16 ● ●	19 ●	32 27 ● ●	27 ●		34 29 ○ ●	29 24 ○ ○	23 30 ○ ○	16	5	0	11	10	391	485	-94
8	琉球コラソン	19 ●	22 26 ● ●	25 23 ● ●	21 25 ● ●	19 26 ● ●	26 31 ● ●	32 30 ● ○		35 ○	32 42 ● ○	16	3	0	13	6	434	570	-136
9	豊田合成	20 23 ● ●	21 ●	20 26 ● ●	28 19 ● ●	19 33 ● ●	28 18 ○ ●	27 23 ● ●	34 ●		31 26 ○ ○	16	3	0	13	6	396	527	-131
10	トヨタ自動車	23 15 ● ●	23 26 ● ●	17 19 ● ○	21 19 ● ●	22 ●	23 ●	22 22 ● ●	35 29 ○ ●	19 24 ● ●		16	1	0	15	2	359	565	-206

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		30 29 30 ○ ● ○	22 25 △ ○	31 34 30 ○ ○ ○	33 29 ○ ○	36 36 34 ○ ○ ○	13	11	1	1	23	399	268	131
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 22 ● ○ ●		21 25 29 ● ○ ○	34 29 ○ ●	26 33 27 ○ ○ ○	34 36 ○ ○	13	9	0	4	18	374	312	62
3	北國銀行	22 23 △ ●	23 22 27 ○ ● ●		29 28 30 ○ ○ ○	28 30 24 ○ ○ ●	38 33 ○ ○	13	8	1	4	17	357	279	78
4	広島メイプルレッズ	22 21 24 ● ● ●	21 31 ● ○	21 14 26 ● ● ●		22 16 ○ ●	37 26 28 ○ ○ ○	13	5	0	8	10	309	333	-24
5	三重バイオレットアイリス	18 22 ● ●	21 22 22 ● ● ●	18 21 30 ● ● ○	16 19 ● ○		26 26 26 ○ ○ ○	13	5	0	8	10	287	331	-44
6	H C 名 古 屋	12 14 10 ● ● ●	17 17 ● ●	14 13 ● ●	22 19 12 ● ● ●	19 21 23 ● ● ●		13	0	0	13	0	213	416	-203

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。